八幡農林事務所　北九州普及指導センター

活動情報　No.10

問い合わせ先　Tel:093-601-8855
Fax:093-601-8869
園芸畜産課　野菜係

令和 7年 11 月 10 日　発行

キャベツ畑にドローンが舞う
定植期の課題を乗り越える、ドローン防除の効果を検証

9 月中旬～10 月下旬にかけて JA 北九若松そさい部会キャベツ班の生産者ほ場でドローンによる農薬散布の効果を検証しました。

キャベツの定植期は、定植作業、かん水に加えて広範囲の農薬散布作業で防除が遅れる傾向にあります。近年、定植直後からチョウ目害虫による被害が多く、防除作業の遅れが被害拡大に繋がっており、産地の課題となっています。

そこで、この課題を解決するため、ドローンによる農薬散布の効果を検証し、導入を検討しました。管内のドローン委託業者と協力して、ドローンによる農薬散布を実施してもらい、散布後のキャベツの葉面への農薬付着状況や害虫の抑制効果を調査し、一定の防除効果が得られました。今作では、定植期後半の降雨の影響で定植遅れが生じたため、定植優先で防除に時間がかけられなかったことやほ場内に水が溜まり、ブームスプレーヤの防除ができなかったこともあり、生産者にはドローン防除の有用性をより実感してもらえました。

普及指導センターでは生産者に今回の結果を周知するとともに、登録農薬情報や経費等の情報提供を行い、ドローン防除技術の普及を図り、生産者の負担軽減と生産性向上に貢献していきます。

ドローン防除の様子